

第57次南極地域観測隊(JARE57)

重点研究観測：南極域から探る地球温暖化

南極域中層・超高層大気を通して探る地球環境変動

昭和基地での PANSY レーダー、レイリーライダー、ミリ波分光放射計観測
—南極上空の温度・風・組成・雲の精密観測—

ねらい

電波やレーザー光、ミリ波放射を用いて南極上空の温度・循環・組成変動を捉える
極域特有の高高度の雲現象（成層圏雲・中間圏雲）の消長・南極域での特徴を捉える
PANSYレーダーの通年フルシステム観測を実施する
57次夏期間に大型大気レーダー国際協同観測（ICSOM）を実施する

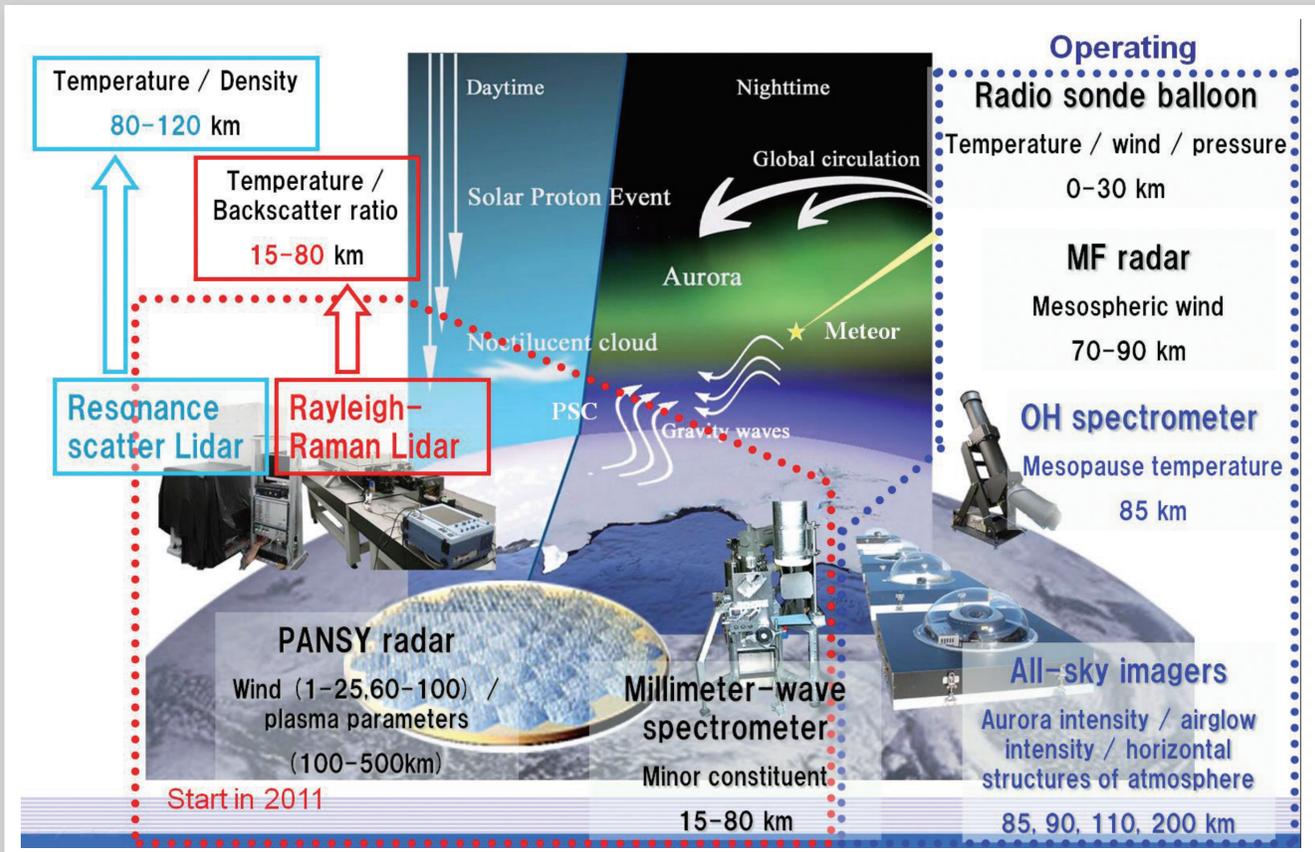
PANSY レーダー



レイリー／ラマンライダー

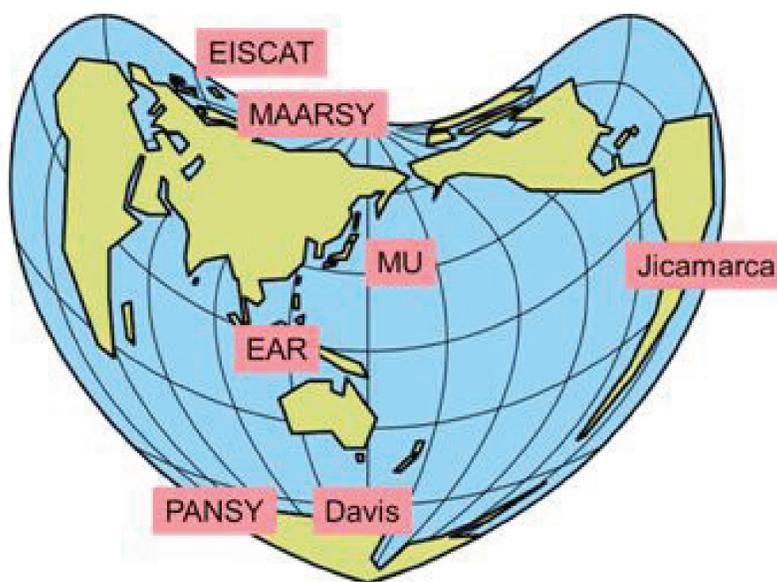


ミリ波分光放射計



大型大気レーダー国際協同観測

(ICSOM: Interhemispheric Coupling Study by Observations and Modelling)



期間:2016年1月15～31日
PANSYレーダーに加え、世界各国の大型大気レーダー（MU、MAARSY等）、各種電波・光学観測装置が参加予定
SCOSTEP/VarSITIの国際キャンペーン観測に認定

下層から中層・超高層大気までの大気温度・風・組成・雲を精密測定
温室効果気体の増加に伴う上空の寒冷化・大気循環の変動を詳細に把握

現在の地球環境変動の把握と理解、そして将来予測の精度向上へ
人類のこれからの行動を考える手がかりに